

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

セキュリティ

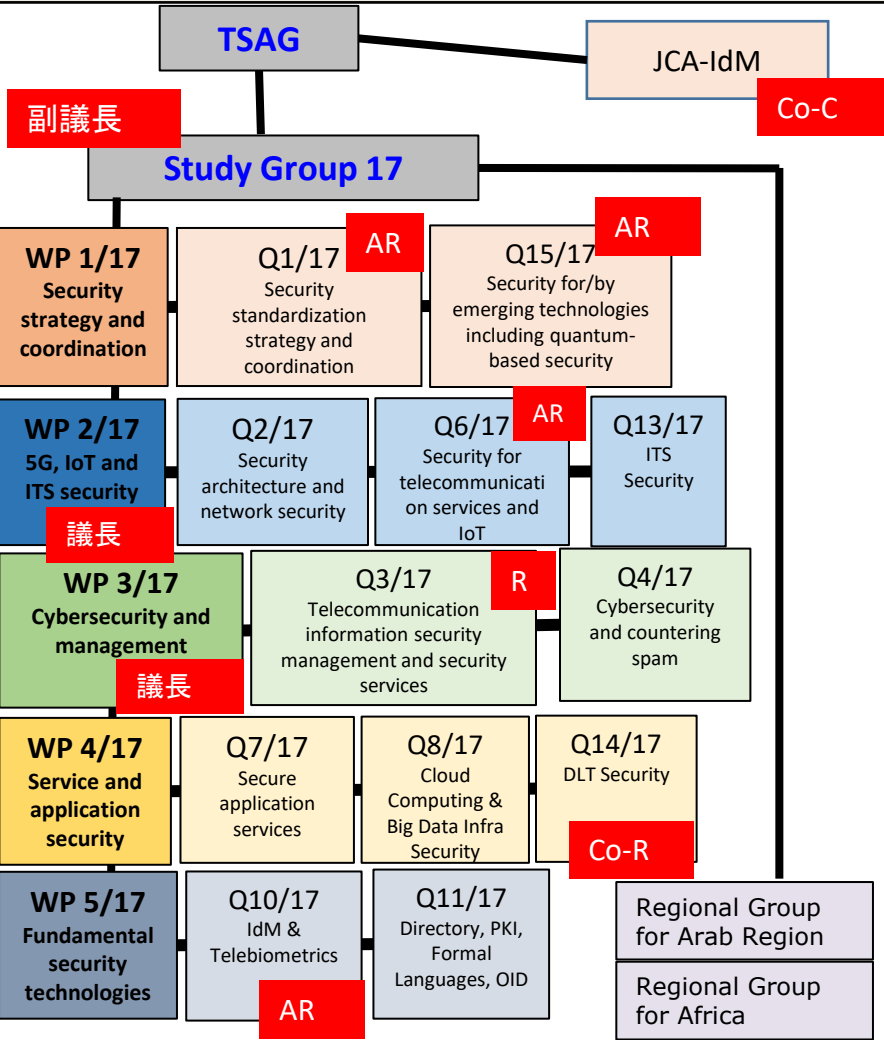
1/3

企画戦略委員	樽屋 克彦(日立)
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長 三宅 優(KDDI)、副委員長 安田 幹(NTT)
活動の目的・意義	- 目的:電気通信サービスに関わるサービスにおいて、サービスの安定運用とお客様への被害を最小限とするセキュリティ対策の仕組みの中で、国際標準化や情報共有が必要なものを勧告、技術文書として発行。 - 意義:電気通信サービスに関わる新しいネットワーク技術、アーキテクチャー、サービス、等においてセキュリティ対策は必須となっており、サービスの安定運用と日本の技術の展開に向けた取り組みを実施可能。
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	5G、Beyond 5G/6G、クラウド・仮想化、DLT、メタバース、等の新プラットフォームや、量子、AI技術等の発展により、新たなサービスの展開が急速に進み、これに伴うセキュリティ上の問題に対する新たな取り組みが必要。
関連のSDGsゴール	
標準化方針	- ITU-T SG17の活動において、特に、セキュリティマネジメント、ITSセキュリティ、IoT/M2Mセキュリティ、5Gセキュリティ(インフラセキュリティを含む)、クラウドセキュリティ、ID管理、DLTセキュリティ、量子暗号通信(QKD)の活動に対して寄書等により貢献。 5Gセキュリティについては、5GMFのセキュリティ調査研究委員会、ITSセキュリティについては、コネクテッドカー専門委員会を通じて3J(自技会、自工会、JASPAR)との連携を推進。 - 他の分野と連携が必要な項目については、該当する専門委員会と引き続き情報交換を行いながら検討を実施。具体的には、IoTセキュリティ(oneM2M、IoT/SC)、ITSセキュリティ(マルチメディア、コネクテッドカー)、DLTセキュリティ(マルチメディア)、メタバース(マルチメディア)等が対象。 - 他国が提案する新規ワークアイテム、および、勧告案において、日本の方針に反する内容を勧告に含まれないように注視し、関係国と連携しながら必要対応を行う。
国内外の標準化団体等の動向	- ITU-T SG17は、2021年4月会合より新規の課題構成となり、WTSAで新会期の議長・副議長が更新された2022年4月以降も同様の課題構成で継続することとなった。 5Gセキュリティについては、SG17において各標準化団体等の活動を整理したロードマップが作成され2022年7月に発効。また、2022年8～9月会合で日本から5Gセキュリティの管理策に関する新規勧告作成が提案され、新規ワークアイテムとして設立。

登録委員数

委員 23名(9社)、特別委員 8名

図解



R: ラポータ、AR: アソシエイトラポータ、C: コンビナー
・ 2022年5月会合の結果を反映

中期標準化戦略(2022年度重点取り組みと活動報告)			専門委員会・AG名	セキュリティ	2/3
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	- 他の標準化団体の動向を含む5Gセキュリティ標準化ロードマップを反映した5Gに対するセキュリティ管理策の勧告作成に着手 - ISO/IEC 27002改定に対応したITU-T X. 1051(テレコム向けISMS)の改定検討開始 - ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J(自技会、自工会、JASPAR)と連携し、X.1373改訂作業等に反映 - ISO/IEC 27400の審議状況を見据えた、IoTシステムのためのセキュリティ管理策(X.sc-IoT)の日本の意向を反映した勧告草案の更新 X.1060(Cyber Defence Centre)のアフリカ諸国等への展開に対する協力 - 引き続き日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献(QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携)				
関連する専門委員会または外部組織とその内容	- コネクテッド・カー専門委員会:X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討 - Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 - IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い - マルチメディア応用専門委員会:課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス 5GMF セキュリティ調査研究委員会:5Gセキュリティに関わる連携				
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事	
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各SG17会合で10件程度	10件(SG17 2022年4月会合) 10件(SG17 2022年8～9月会合)		
	外部会合への参加・連携状況	- SG17会合(2022年5月、8～9月) - CJK Information Security WG会合(次期末定)	- CJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため、引き続き中止。 2022年3月のSG17会合は、日本から24名の参加。 2022年8～9月のSG会合は、日本から26名の参加。		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 2022年度はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し。		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	1件 X.1373については、本勧告の改定状況等を見ながら標準化検討する。(X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices)	2件を標準化 JT-X1060: ITU-T X.1060(Framework for the creation and operation of a cyber defence center) - 2022年4月11日発行 JT-X1712: ITU-T X.1712(Security requirements and measures for quantum key distribution networks – key management) - 2022年2月24日発行 - X.1373はSG17で改訂作業が進行中。		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関する 세미나開催(2022/2Q)	9月9日にTTCオンラインセミナー「企業・組織に関するセキュリティ対策の標準化、最新技術動向 ～サイバーディフェンスセンターについて～」を開催。		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、他	- SG17 5月会合、8～9月会合の結果報告をTTCレポートに寄稿。 - JT-X1060に関する記事をTTCレポートに寄稿。		

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	5Gに対するセキュリティ管理策の勧告作成に貢献 - B5G/6Gに関するセキュリティピックアップの整理とSG17として取り扱う項目の検討に貢献 - ISO/IEC 27002改定に対応したITU-T X. 1051(テレコム向けISMS)の改定対応 - ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J(自技会、自工会、JASPAR)と連携し、X.1373改訂作業等に反映 - ISO/IEC 27400の審議状況を見据えた、IoTシステムのためのセキュリティ管理策(X.sc-IoT)の日本の意向を反映した勧告草案の更新 - X.1060(Cyber Defence Centre)のアフリカ諸国等への展開に対する協力(CDCの解説を行う補足文書作成への貢献) - 引き続き日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献(QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携)			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	- コネクテッド・カー専門委員会:X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討(3Jとの連携を含む) - Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 - IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い - マルチメディア応用専門委員会:課題Q.22 分散電子台帳技術とeサービス 5GMF セキュリティ調査研究委員会:5Gセキュリティに関わる連携			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	各SG17会合で10件程度	-	
	外部会合への参加・連携状況	- SG17会合(2023年2~3月、8~9月) - CJK Information Security WG会合(次期末定)		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件 - X.1373については、本勧告の改定状況等を見ながら標準化検討する。(X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices) 5Gのセキュリティ管理策については、SG17での勧告化後にTTC標準化を検討する。	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関するセミナ開催(2023/2Q)		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他		